明日の笑顔を 共に創る

セブン - イレブン・ジャパン 食品ロス削減に向けた取り組み

26年10月17日

株式会社セブンーイレブン・ジャパン
サステナビリティ推進室

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

自己紹介

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
サステナビリティ推進室 総括マネジャー

Seven-Eleven Japan Co., Ltd.
General Manager, Sustainability Promotion Office

川瀬　由紀子

Kawase　　Yukiko



© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

会社概要

名称	株式会社セブン - イレブン・ジャパン
本部 所在地	東京都千代田区二番町8番地8
設立	1973年11月20日
資本金	172億円
従業員数	8,248人
チェーン 全店売上	5兆3,697億円
1日の 売上(合計)	約147億円
１日の 客数(合計)	約2,000万人





※2025年2月期実績

■ 国内外の店舗数



国内47都道府県

21,743店

世界の店舗数 85,932店

※2025年2月末現在

■ 店舗単位の実績（全店平均）

平均日版	1日の平均客数	平均客単価
692千円	922人	750円

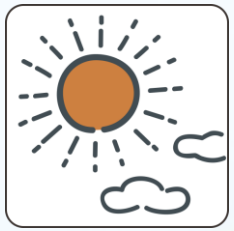
※2025年2月期

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

セブン&アイグループ環境宣言 ― GREEN CHALLENGE 2050 ―

CO_2排出量削減

● グループの店舗運営にともなうCO_2排出量（13年度比）



2030年目標	50%削減
2050年の目指す姿	実質ゼロ

GREEN CHALLENGE 2050 私たちの挑戦で、未来を変えよう。

プラスチック対策

● オリジナル商品の容器は、環境配慮型素材を使用



2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

● プラスチック製レジ袋の使用量

2030年目標	使用量ゼロ

食品ロス・食品リサイクル対策



	食品廃棄物量（2013年度比）	食品廃棄物のリサイクル率
2030年目標	50%	70%
2050年の目指す姿	75%	100%

持続可能な調達

● オリジナル食品で使用する食品原材料は、持続可能が担保された材料を使用



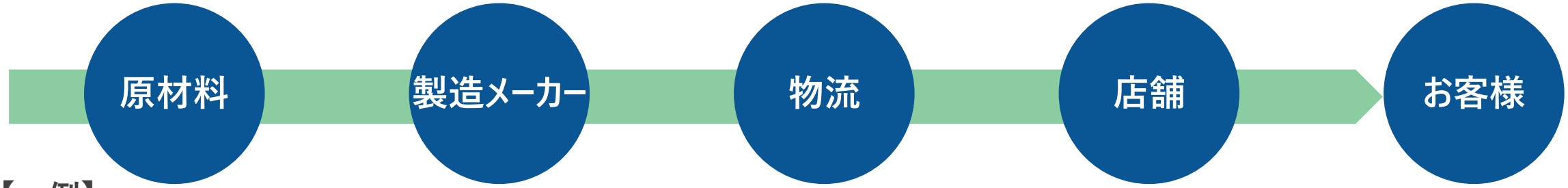
2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

4つのテーマを軸に、持続可能な社会の実現に向けた環境対策を推進しています

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

サプライチェーン全体で食品ロス削減



【一例】

原材料	製造メーカー	物流	店舗	お客様
✓ 規格外品の商品化	✓ 商品の鮮度延長 ✓ 余剰原材料・商品の寄贈	✓ **1/3ルールの見直し** ✓ 発注〆時間の変更 ✓ 新規商品1週間前発注 ✓ 完全2便制（テスト） ✓ **ソフトドリンク鮮度逆転緩和**	✓ AI発注 ✓ **エコだ値（値引き販売）** ✓ てまえどりの啓発 ✓ 閉店・改装店舗の商品寄贈	✓ **フードドライブ活動** ✓ エコショッピングのご協力 ✓ 食品寄付

原材料の調達から製造、物流、店舗、お客様に至るまで、
サプライチェーンの各段階で食品ロス削減に取り組んでいます

明日の笑顔を 共に創る

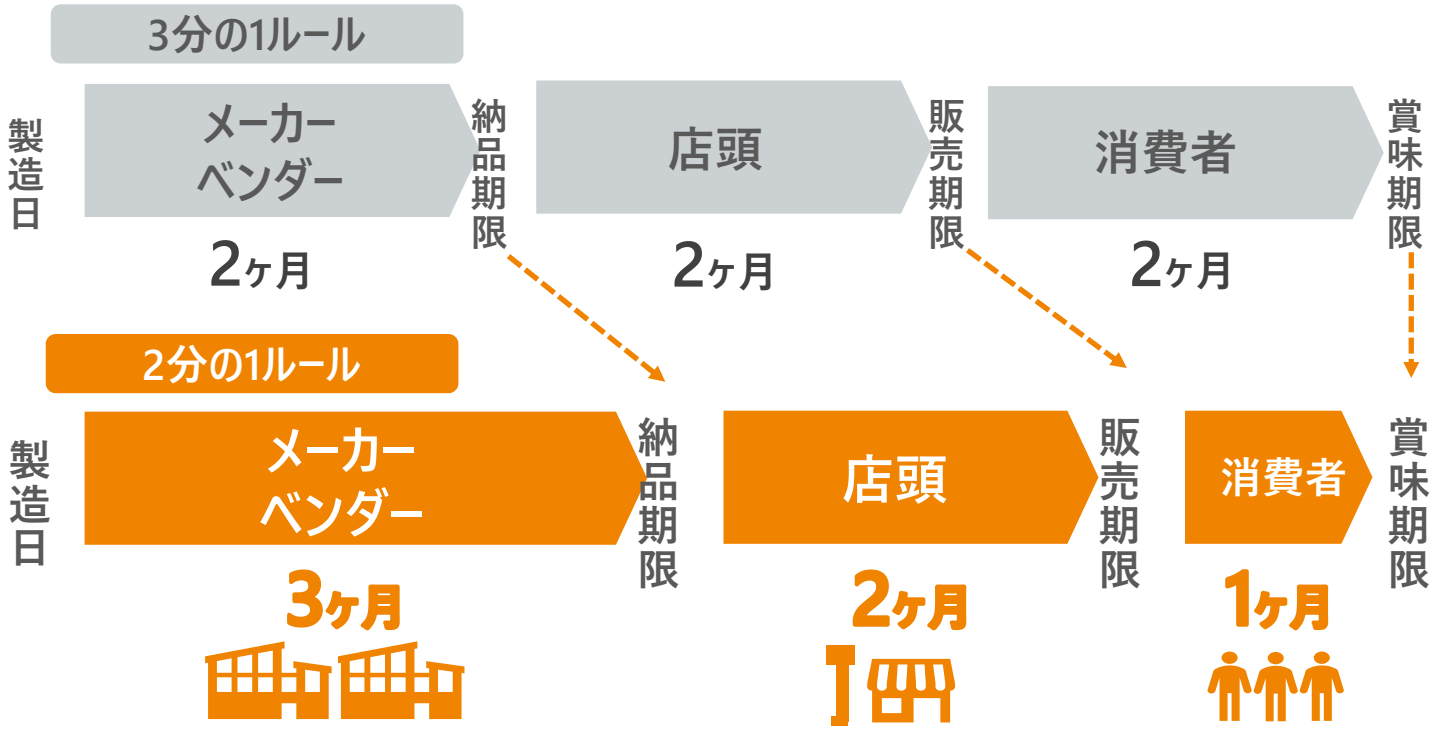
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

物流における主な取り組み

■ 1/3ルールの見直し

2014年から順次拡大

≪賞味期限6カ月の商品例≫





従来の「1／3ルール」を「1／2」へ見直し納品段階での食品ロス削減につなげています

明日の笑顔を 共に創る

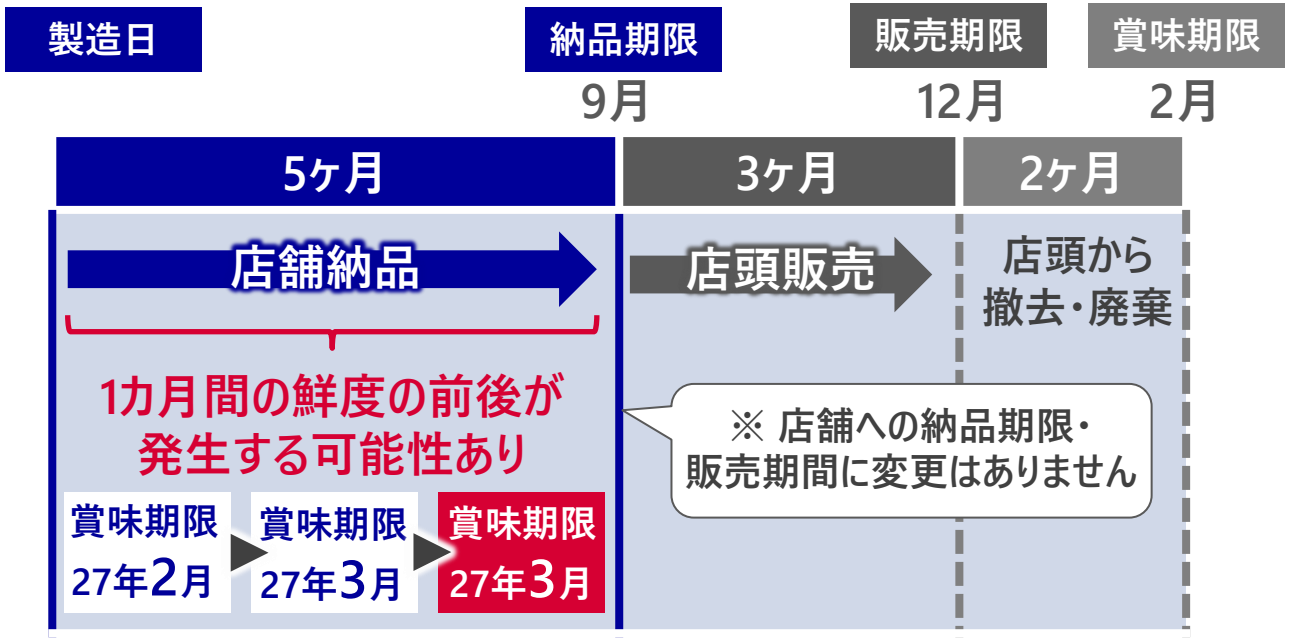
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

物流における主な取り組み

■ ソフトドリンク納品における鮮度逆転緩和

2026年7月から順次開始

≪ソフトドリンク500mℓ・賞味期限27年2月の商品の例≫



〈期待できる効果〉



「1／2ルール」に加え、納品期限の範囲内で鮮度逆転の納品で更なる削減を目指しています

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

【店舗】における主な取り組み

■ エコだ値（期限間際の商品値引き）

2024年から開始





安さではなく環境対策を強調

【name】エコに繋がるメッセージ

【color】環境対策イメージの緑

【mark】地球を守る目的





令和6年消費者庁長官賞受賞

食品ロス削減の実効性に加え、消費者の意識・行動変容につながる点を評価いただきました

単なる「安売り」ではなく廃棄費削減などの**経済的価値**、

環境負荷軽減にもつながる**社会的価値の両立を継続して目指しています**

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

【フードドライブ】の取り組み

店舗におけるフードドライブ



食の環プロジェクトの一環として実施



26年2月現在 **824**店舗
（17都県2区54市12町）

本社・地区事務所におけるフードドライブ

ホームページ掲載に当たり、画像を削除しております。

25年度
31箇所で年2回実施

改装時等におけるフードドライブ

ホームページ掲載に当たり、画像を削除しております。

25年度
313回実施

2021～2025年度 合計寄贈重量 **約654トン**（日用品等含む）

店舗が地域の拠点となり、ご家庭の余剰食品を集めています
お預かりした食品は支援団体へお渡しし、食品を必要とする方々へ支援しています

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

【新たな仕組みづくりへの挑戦】フレッシュフードの寄贈

令和7年度消費者庁実証事業：コンビニ型コミュニティパントリー

セブン-イレブン　消費者庁 Consumer Affairs Agency, Government of Japan

◆ 実施内容

販売期限を超えてから消費期限までの喫食可能なフレッシュフードを廃棄せずに必要とされる方に寄贈

◆ 期間

2025年10月21日 ～ 2026年1月31日

◆ 実施店舗

3店舗（名古屋市・仙台市・千葉市から各1店）

◆ 寄贈の流れ

① 行政が対象者を選定

② 専用アプリから対象者が直接店舗で受け取り

※イメージ



食にお困りの世帯（行政が選定）

店頭渡し

冷蔵ロッカー

消費者庁との連携のもと、官民それぞれの知見と強みを生かし、食品ロス削減と食品支援を両立する新たな仕組みの構築に挑戦しています

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

食品ロスの削減は、私たち一社だけの取り組みでは実現できません。
原材料の調達から製造、物流、店舗、お客様に至るサプライチェーン全体で課題を共有し、
それぞれの立場で工夫を積み重ねていくことが大切です。

セブン‐イレブン・ジャパンは、加盟店やお取引先、地域の皆様との連携を深めながら、
廃棄を減らす仕組みづくりと、食品を必要とする方へ届ける仕組みづくりの双方に取り組んでまいります。

これからも、地域に根ざした店舗の強みを生かし、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献していきます。

